

合気道新聞 6 学連春季講習会

主催 会催 台主



毎月10日発行

発行所

東京都新宿区若松町17番18号 (郵便番号162-0056)

公益財団法人 合気会

(合気道本部道場)

編集人 可児 晋

電話 03 (3203) 9236 (代表)

FAX 03 (3204) 8145

購読料

1ヵ年 2,500円

郵便振替

00150-0-49527番

ご購読は、なるべく上記振替口座をご利用下さい

道歌

己が身に
ひそめる敵を
エイと斬り
ヤアと物皆
イエイと導け

第57回全日本合気道演武大会

第57回全日本合気道演武大会は、5月25日(土)、東京・千代田区の北の丸公園内の日本武道館で開催されます。
当日は午前11時開場、正午開会、午後5時閉会の予定。一般の参観者歓迎、入場無料です。
〔個人演武〕植芝守史道主、本部道場師範、地域道場師範らが出場。
主催：(公財)合気会 後援：スポーツ庁、東京都、(公財)日本武道館、NHK、朝日新聞社、日刊スポーツ新聞社、協力：全日本合気道演武連盟

29日に合気神社大祭

「合気神社大祭」は4月29日(昭和の日)茨城県常陸市(旧岩間町)の合気神社で執り行われ、午前11時から大祭、開祖慰霊祭、二代道主慰霊祭と続き、神事の後、植芝守史道主の挨拶、奉納演武が行われ、正午過ぎに祭典は終了する。その後、直会が開かれる。

偲ぶ会は26日に

合気会は恒例の「開祖・吉祥丸二代道主を偲ぶ映像を上映した会」を4月26日の午後7時から本部道場で開催する予定。

入身転換

青空に桜の花が映える季節となった。北上していく桜前線を追う人たちの気持ちがよくなる。
平成もいよいよ最後の月を迎えた今月1日に新元号が発表された。出典は万葉集「令和」となった。梅花の歌の「序文」にある「初春の令月(れいげつ)にして、気淑(きよ)きよ、風和(かぜやは)らぎ、梅は鏡前(かがみまへ)きよげん(きよげん)の粉を披(ひら)き、蘭は瓶後(はいご)の香を蕙(か)らす。」から「令」と「和」が引用された。寒さのあと咲き誇る梅の花のように一人一人の日本人がそれぞれの花を大きく咲かせる日本でありたいとの願いを込めたようだ。
従来、元号は漢籍から引用されていた。日本の古典からは初めてである。万葉集は奈良時代に編纂された歌集で天皇、貴族から一般庶民まで幅広く人々の歌が収められている。新元号が日本の古典から選ばれたことにより、人々の関心が万葉集を始めとした日本の古い文化遺産に向かうきっかけになりそうだ。
元号の制定は元々中国の王朝で始められた。それが中国周辺の朝鮮やベトナムなど各国で採用されていたが、現在、元号が使われているのは日本だけである。日本では飛鳥時代から今日に至るまで1400年近く続いている。そして天皇の即位時以外にも天変地異や事件の度に、国の安定や民の安寧を願って改元されてきた。歴史上、慣れ親しんだ元号も多く日本の伝統文化の一端を担っている。新しい元号に期待しながらも今月は残り少なくなってきた平成の時代に思いを馳せながら過ごそうと思う。(可児 晋)

平成もいよいよ最後の月を迎えた今月1日に新元号が発表された。出典は万葉集「令和」となった。梅花の歌の「序文」にある「初春の令月(れいげつ)にして、気淑(きよ)きよ、風和(かぜやは)らぎ、梅は鏡前(かがみまへ)きよげん(きよげん)の粉を披(ひら)き、蘭は瓶後(はいご)の香を蕙(か)らす。」から「令」と「和」が引用された。寒さのあと咲き誇る梅の花のように一人一人の日本人がそれぞれの花を大きく咲かせる日本でありたいとの願いを込めたようだ。

従来、元号は漢籍から引用されていた。日本の古典からは初めてである。万葉集は奈良時代に編纂された歌集で天皇、貴族から一般庶民まで幅広く人々の歌が収められている。新元号が日本の古典から選ばれたことにより、人々の関心が万葉集を始めとした日本の古い文化遺産に向かうきっかけになりそうだ。

元号の制定は元々中国の王朝で始められた。それが中国周辺の朝鮮やベトナムなど各国で採用されていたが、現在、元号が使われているのは日本だけである。日本では飛鳥時代から今日に至るまで1400年近く続いている。そして天皇の即位時以外にも天変地異や事件の度に、国の安定や民の安寧を願って改元されてきた。歴史上、慣れ親しんだ元号も多く日本の伝統文化の一端を担っている。新しい元号に期待しながらも今月は残り少なくなってきた平成の時代に思いを馳せながら過ごそうと思う。(可児 晋)



植芝本部道場長より細かい点が指導された

関東学連

関東学生合気道連盟平成30年度合気道春季講習会が、3月11日と12日の2日間にかけて、日本武道館研修センターで開催されました。計22校、109名(役員を含め127名)の学生が参加しました。

今回の講習会では、合気道本部道場道場長植芝充史先生にご指導いただき、新入生を迎える上級生の適切な指導力を養う稽古を行いました。

1日目は、構え方、受け身、転換といった、合気道の基本動作の確認を行いました。合気道に慣れていない新入生の怪我を未然に防ぐために注意すべき点などを教えていただきました。

また、2人1組で後受け

身の練習をしたときは、受け側が1年生役をやり、実際に新入生に受身の仕方を教える時を再現することで受身の指導の仕方を分かり易く理解することができました。異なる技の関係性を丁寧に教えていただき、どのような順番で技を教えるかと新入生に伝わりやすいかを理解することができました。

2日目は、横面打ちの体捌きや膝行を用いた座技を中心に行いました。また、合気道の怪我で最も多い、前受身による肩の負傷を防ぐための対策についても教えていただきました。参加者自身も正しい受け方ができているかを確認できました。

講習会の初日は新入生への指導の方法に關連した稽古を、2日目は梅津先生による通常稽古を行っていただきました。新入生への指導に關連した稽古では、座った状態からの後ろ受身から始まり、徐々に立った状態へ体勢を変えて怪我をしない受身の練習を行いました。怪我をしない、させないための受けの方法や取りの方法についても詳しくご指導いただきました。

正面打ちの技への足がかりとして、手刀合わせからの一教や、入身投げ、小手返しを行いました。

2日目は横面打ちの打ち方や捌きの方法や、捌いたあとのつながりの作り方などについて詳しく解説をしていただきました。また、1日

北海道学連

平成30年度北海道学生合気道連盟春季講習会は、3月16日、17日の2日間にわたり北海道大学武道場にて、梅津翔本部道場指導部指導員によるご指導の下、開催されました。加盟校4校から54名の学生が参加しました。

講習会の初日は新入生への指導の方法に關連した稽古を、2日目は梅津先生による通常稽古を行っていただきました。新入生への指導に關連した稽古では、座った状態からの後ろ受身から始まり、徐々に立った状態へ体勢を変えて怪我をしない受身の練習を行いました。怪我をしない、させないための受けの方法や取りの方法についても詳しくご指導いただきました。

正面打ちの技への足がかりとして、手刀合わせからの一教や、入身投げ、小手返しを行いました。

2日目は横面打ちの打ち方や捌きの方法や、捌いたあとのつながりの作り方などについて詳しく解説をしていただきました。また、1日

東北学連

東北学生合気道連盟春季講習会は、3月28、29の両日、東北学院大学土樋キャンパス40周年記念館地下道場にて、日野皓正本部道場指導部指導員にご指導いただきました。両日ともに連盟加盟の8校より45名が参加し、1時間半から2時間の講習を2回行った。

講習会では後ろ受身の安全な習得方法から始まり、四方投げ等の基本技を中心に技の安全な稽古法、前回り受身の危険性を踏まえた練習の仕方を行った。また上級生のための稽古を、体さばきや受けの意識を確認しながらご指導いただいた。

講習会の最後には立ち方や座り方、礼の形を確認し、技術と同時に気持ちを大切に稽古を行い、新入生と向き合うことを学んだ。

2日間という短い講習会であったが、東北学生合気道連盟として皆で協力していかうと思つた。(東北学生合気道連盟委員長 藤井 更紗)

中部学連

中部学生合気道連盟は第42回春季講習会を、愛知県武道館にて、3月5日・6日両日に開催、8校61名が参加した。稽古は本部道場より梅津翔本部道場指導部員の指導の下行われた。

今回の講習会では、新1年生の指導方法を主として、合気道の基礎を学んだ。初日は、受身や足さばきを、運動経験がある者だけでなく、ない者にもどう指導していくべきか、受身という一つの動きを段階ごとに細かく分け、その一つ一つを細かくご指導いただきました。受身は合気道を行う上で、自分の身を守ることで、自分自身を守ることで、できる大変重要な動きであり、学生は真剣に学んでいた。

講習会の最後には立ち方や座り方、礼の形を確認し、技術と同時に気持ちを大切に稽古を行い、新入生と向き合うことを学んだ。

2日間という短い講習会であったが、東北学生合気道連盟として皆で協力していかうと思つた。(東北学生合気道連盟委員長 藤井 更紗)



梅津指導員の指導

関西学連

平成31年度関西学生合気道連盟春季講習会は3月11日、12日の2日間にわたり開催されました。連盟加盟校のうち、13校87名の学生が参加した今回の講習会では、本部道場より小山雄二本部道場指導部指導員をお招きし、吹田市立洗心館で行われました。初日は片手持ちからの転換から始まり、主に体を動かす投げ技を中心に指導していただきました。また、それぞれの大学内における礼儀作法や時代錯誤な風習について話を伺いました。

講習会の初日は新入生への指導の方法に關連した稽古を、2日目は梅津先生による通常稽古を行っていただきました。新入生への指導に關連した稽古では、座った状態からの後ろ受身から始まり、徐々に立った状態へ体勢を変えて怪我をしない受身の練習を行いました。怪我をしない、させないための受けの方法や取りの方法についても詳しくご指導いただきました。

正面打ちの技への足がかりとして、手刀合わせからの一教や、入身投げ、小手返しを行いました。

2日目は横面打ちの打ち方や捌きの方法や、捌いたあとのつながりの作り方などについて詳しく解説をしていただきました。また、1日



小山指導員の指導

中四国学連

平成31年度中四国学生合気道連盟春季講習会は、3月22、23日に維新百年記念公園内武道館(山口県)にて、日野皓正本部道場指導部指導員をお招きして行われた。連盟加盟の8校より60名が参加。

2日目は主に受身が重要な技の指導をしていただきました。特に受け身に関して、これまで運動をしてこなかった新入生にも怪我をさせないよう、細かく段階を踏んだ手順で教えられるようにと、丁寧に指導いただきました。新入生をはじめとする後進の指導はどのようなポイントを押さえて指導すればよいのか、技を受ける際、どのような稽古においても大切にするべき内容をご指導いただきました。

また新入部員の勧誘についてもお話しいたいただき、充実した講習会となりました。中四国学連加盟の各大学で今回指導いただいた内容を持ち帰り、春を迎える新入生のより多くに合気道の魅力を伝えていきたいと思つた。(中四国学生合気道連盟委員長 牧愛美)

講習会の初日は新入生への指導の方法に關連した稽古を、2日目は梅津先生による通常稽古を行っていただきました。新入生への指導に關連した稽古では、座った状態からの後ろ受身から始まり、徐々に立った状態へ体勢を変えて怪我をしない受身の練習を行いました。怪我をしない、させないための受けの方法や取りの方法についても詳しくご指導いただきました。

正面打ちの技への足がかりとして、手刀合わせからの一教や、入身投げ、小手返しを行いました。

(公財)合気会理事会開く

(公財)合気会の理事会は、3月19日午前11時より本部道場3階で開催された。

会に先立ち植芝守央道主より「本日は公益財団法人合気会の理事会にご多用の中お越しいただき、心から感謝致します。合気道新聞が昭和34年4月に発刊されてから60年の歳月が経過し、本年5月には発行700号と言う節目を迎えるに至ります。その間、国内では大学の合気道部が次々に発足した事を足懸かりに、全国で合気道の普及が活発になりました。また、海外では昭和30年代に指導者たちが各国に渡った事を皮切りに普及が始まり、現在では世界で140の国と地域で大きな輪が出来上がっています。合気道新聞の紙



挨拶する植芝道主

す。これからも大切にしたい。新しい年度、またその先と合気会一丸となつて進めていきたい。このように思っております。本会議も宜しくお願い致します」と挨拶があった。

合気道学校開講式

平成31年度合気道学校開講式は、4月1日(初級)、2日(上級)、3日(中級)にそれぞれ行われ計54名が入校した。

開講式で植芝守央道主が「合気道学校は、各課程を通じて合気道の実技と理論を身に付けられるよう基礎からカリキュラムに沿って指導される。それぞれの課程で8月下旬まで38回の稽古が行われ、所定の課程修了者には修了証のほか、昇段審査を通過していただきたく思います」と挨拶を述べた。担当講師の紹介の後、第1回目の稽古に移った。



上級課程の小林幸光、桂田英路両本部道場指導部師範、中級課程の鈴木俊雄指導部師範、小山雄二指導部指導員、初級課程の関昭一、金澤威両指導部師範。

大阪府連が「指導者講習会」



植芝本部道場長の指導

大阪府合気道連盟は3月17日に植芝守央本部道場長をお迎えし、「第2回指導者講習会」を連盟会長の道場である豊中正泉道場にて開催した。加盟各団体より選抜された90名の指導者層に見取り稽古の見学者を合わせ総勢115名の参加となった。今回は次世代を担う若手の参加が増え熱気あふれる講習会であった。当日は初心者・中級者への指導を想定し、構え・受け身・膝行からスタートし、入身転換の足捌き・体捌きに加え正面打ち・横面打ちの基本動作の要点・注意点を丁寧に分り易く指導頂いた。続いてこれら基本動作をベースに呼吸法・一教・入身投げ・四方投げ他

の基本技を受け取り、それぞれの視点より、また安全面も考慮した稽古方法を学んだ。休憩なしの2時間の講習会であったが短く感じられ大変充実したものとなり参加者全員が得心のいった顔が印象的であった。連盟の年間行事としては「連盟講習会」「少年少女錬成大会」「救急救命・安全セミナー」にこの「指導者講習会」が新たに加わり定例化している。連盟行事も年々規模が大きくなりつつあり更なる質の改善を図って参る所存である。日頃の本部道場の深いご理解、ご支援に感謝しつつ引き続き指導をお願いするものである。(大阪府合気道連盟事務局 羽賀文彦)

外国人留学生等に国際文化セミナー 第1回外国人留学生等対国際文化セミナーが3月1日から3日まで日本武道館研修センターにて行われ、日本在住の外国人留学生と大使館職員を対象として34の国と地域から80名が参加した。本セミナーには現代武道9道から講師が派遣され、合気道では専門委員として金沢威本部道場指導部師範、助手として私(森)が派遣された。本セミナーは今まで30年間続いてきた、外国人武道経験者対象の国際文化セミナーをリニューアルし、武道の初心者を含むようなたちで外国人留学生と大使館職員を対象とし、現代武道9道を体験してもらおうという新しい取り組みである。参加者の半数は武道が初体験の方々である。3日間のセミナーでは実技と講義が行われ、実技では各道の講師による講師演武の後、参加者は現代武道9道を全て体験した。講義では藤堂良明筑波大学名誉教授による「武道の歴史と特性」、馬術礼法小笠原教場三十一世宗家嫡男の小笠原清基弓氏の「武道の礼

武道振興会



植芝道主を中心に

武道振興大会は3月6日正午から東京・永田町の憲政記念館で開催され、合気道からは植芝守央道主をはじめ、(公財)合気会役員ら13名が出席した。

大会は三藤芳生(公財)日本武道館常任理事・事務局長の司会で進められ、丹羽秀樹武道議員連盟理事・事務局局長の開会の辞で始まり、江渡聡徳武道議員連盟会長と高村正彦日本武道協会会長(公財)日本武道館会長から主催3団体代表挨拶があった。

続いて山谷えり子武道議員連盟副会長・理事長が武道議員連盟・日本武道協会・日本武道館の三者による大会決議文を披露。同決議文が柴山昌彦文部科学大臣に手渡された後、柴山大臣による来賓祝辞があり、各武道団体代表者による挨拶に移った。合気道からは植芝道主が「合気道は現在しっかりとした形で普及・振興を進めさせていきたいとおります。海外におきましては組織の大小はありますが140の国と地域で活動を注いで参りたいと思っております。国内に置きましては、合気会登録団体数は2400でございますが、

地域社会指導者講習会

東京都

平成30年度東京都(足立区)地域社会指導者講習会(主催)公益財団法人日本武道館・公益財団法人東京都スポーツ文化事業団東京支部・公益財団法人合気会・全国都道府県立武道館協議会、後援)日本武道協会・東京武道館武道協議会、主管)東京都合気道連盟)は3月2日、3日の2日間、東京武道館にて行われた。本部道場からは藤巻

中学校で合気道を正課で採用されている学校数はまだ50でございますのでこれから更に努力して参りたいと思っております」と述べた。

その後、安倍晋三内閣総理大臣の祝辞が代読披露されると日井日出男(公財)日本武道館理事長の乾杯の音頭で歓談に移った。

宏本部道場指導部師範、松村光太郎指導員が中央講師として派遣された。また、地元講師を藤巻清次郎東京都合気道連盟会長と大田勤同連盟副理事長が動めた。55団体から約160名が参加した。



四方投げを指導する藤巻師範

2日は講習会に先立ち開成式が行われ、主催者側から片岡正則公益財団法人日本武道館振興部部長、寺内定雄東京武道館長、主管団体から藤巻理事長、講師を代表して藤巻師範がそれぞれ挨拶を行った。

片岡普及課長は挨拶で「この2日間の研修会を通して学んだことを自己鍛錬、地域の合気道の向上、青少年の指導等にぜひ役立てていただければと思います。水分をしっかりとり、怪我なく有意義な研修会に

なるようにお祈り申し上げます」と述べた。開成式の後、午前と午後に行われ寺内館長より参加者代表に修了証が渡された。最後に藤巻師範から講習がなされ、2日間の講習会は無事に全日程を終了した。

愛知県

平成30年度愛知県地域社会武道指導者研修会が2月23、24日の両日に渡り約300名が愛知県武道館に参集し開催されました。

初日は中央講師より関昭二本部道場指導部師範による実技指導が始まり、基本技を中心に、その瞬間の当たりを大切にまた力を抜くことを恐れず真っ直ぐ上を、真っ直ぐ下ろし、重さを下に伝える方法を繰り返して、指導下

さいました。後半は澤田師範による指導で常に腰から入って腰から出す、また手を中心に姿勢は真っ直ぐに、後ろの踵を響かせる重要性を説かれた。気迫のこもった稽古指導でした。

その後、立木幸敏国際武道大学教授による「合気道の安全指導頭部外傷の予防について」をテーマに3つ

のキーワードをポイントに分り易く講義していただきました。2日目は和田昭師範による実技指導が始まり螺旋の動作を大切に柔らかに粘りのある技を示された指導でした。後半は関師範による実技指導で最後に関師範のお言葉で指導者は常に向上心を持ち続け、自身の技術を全て指導の場で惜しみなく与えることでまた自分に返ってくると思われたいと思っております。(岡崎合気道道館 神谷英志)

心地よく汗を流した



各道場の昇段者

平成31年2月15日～
平成31年3月14日
(公財)合気会登録

【四段】

◆白岡合気会＝境澤吉正◆桶川愛気会＝林豊◆正心会＝石塚一聖◆大阪武育会＝三宅勇紀、河合知朗◆大手前学院＝西川美貴◆東京都庁合気道部＝富永均◆石岡道場＝大塚光広◆我孫子合気会＝桑原一則◆合気道広沢塾＝小池俊彦◆明治大学教職員合気道クラブ＝中村太一◆専修大学＝小島史也◆DENMARK＝S.Thomasberg、C.Gioia◆U.S.A.＝J.Kinman、E.Ricafort、奥田英樹、T.Kohn、C.Wagner◆AUSTRALIA＝A.Chambers、J.Bree、Y.Iqbal◆ROMANIA＝M.Vladu、C.Ciobanu、F.Trisca、G.Juhasz、R.Tihai◆NETHERLANDS＝S.Rodenburg、M.Muehlenbrock◆MEXICO＝X.Pech◆U.K.＝C.Jones、J.Immonen、C.Matts◆LAOS＝M.Vongphachan◆FRANCE＝P.Lalung◆RUSSIA＝S.Solovyova

【三段】

◆白岡合気会＝小林裕一◆合気道長岡道場＝関田芳嗣◆横浜ベイサイド合気会＝吉見創動◆荻窪合気道同好会＝安随里佳子◆久喜合気道同好会＝小智◆合気道鉦路道場＝志村淳次◆合気練成会＝福岡愛江◆小林道場＝油本千春◆祥平塾＝永島弥生◆大阪武育会＝西川繁博◆石岡道場＝佐野稔、駒田一郎◆我孫子合気会＝吉原久雄、石井彰◆高千穂大学＝矢部雅也◆大阪教育大学＝折橋将司◆東海大学望星学塾＝船越節夫◆桃山学院大学＝井上瑛弘◆立正大学＝神田成晶◆AUSTRALIA＝Z.Pfau、J.Costa、B.Lewis、A.Mori、G.Giannis◆ROMANIA＝I.Hanor、G.Vasu、I.Gaspar◆NETHERLANDS＝M.Brom、G.Crommenakker、M.Disco◆FRANCE＝N.Ragot、M.Torqui◆POLAND＝D.Popielarski、J.Londwig◆SPAIN＝P.Pavelka、J.Rufo、F.Munoz、J.Delgado、J.Trobajo◆MEXICO＝L.Monzon◆ISRAEL＝A.Eshel、Y.Shafran、片岡実保、N.Yohai、H.Avrutsky◆U.K.＝A.Thompson、C.Brown、D.Sherringham◆U.S.A.＝K.Irby、S.Nishi◆LAOS＝S.Inthavong◆INDONESIA＝V.Mahtani◆SWITZERLAND＝F.Richer◆GERMANY＝S.Popovic◆BRAZIL＝F.Matos、L.Soaes、R.Sabino、R.Fernandino、R.Cortes◆NEPAL＝B.Shrestha、K.Pun◆中華民国台湾＝王信堂、陳裕政、高健銓

【二段】

◆本部道場＝高木斗希夫、後藤祥子、茂木幸栄、A.Waechter◆IHI東京＝森田晶彦◆ひたちなか合気会＝岡村美智子、市村崇◆盛岡道場＝佐藤恵理子◆小林道場＝藤縄裕平◆合気道石心塾＝日下部喬、F.Werner◆神武館＝広瀬優子、上石朋香、原亜也子、永田翔大、奥田峰司◆大阪武

育会＝畠中理英、亀山マルティン、栗焼政彦、齊藤日向子◆大手前学院＝方永揚◆津山合気会＝大林直弘◆二宮合気会＝酒井修◆柏合気会柏道場＝宇野岳◆防衛省合気道連合会＝土井弘明、服部達也◆若手金石玄武館＝佐藤裕◆大治町合気道スポーツクラブ＝近藤計太◆我孫子合気会＝澤志麻子、土屋欣弘◆飯田合気道研究会＝菅沼賢人◆愛知学院大学＝岩月美加子、桑山みのり◆駒澤大学＝佐藤洋亮◆甲南大学＝岸本泰典、吉田弘樹◆国際武道大学＝野中力樹◆三重大学合気道部＝野村京矢◆上智大学(ソフィア合気会)＝有馬隼人◆信州大学＝深山敦史◆早稲田大学＝高塚賢多、菊地瑞波、稲玉侑里子、辨崎隆哉、和久里智也◆大阪教育大学＝木原希◆大阪大学体育会合気道部＝今井健二◆大東文化大学＝李育豪、畠山光子◆東海大学＝柳田宇堯◆東京経済大学＝板橋創太郎、仲井光希、杉山賀彦◆東京農工大学＝渡邊陽介、平塚弘樹、唐牛健杜、伊藤至紋、赤嶺拓矢、福田真史、原田真侑子◆南山大学＝関口さあや、森本朱音◆日本大学生物資源科学部＝千葉啓、加藤雄介、大友佳生、郡司耕平◆法政大学＝齊藤僚太、田中郁哉◆立正大学＝森本美彩、町永小夏、仲渡琴音、神戸日南帆、谷本将隆◆國學院大學＝内田雅也◆富山大学＝鶴岡皓平、黒田祐基、寺元佑実、中田達也、沼野夏実、春成里衣、吉川凌太◆東北学院大学工学部＝村上寛◆学習院大学＝塩路麻梨乃◆DENMARK＝M.Bidstrup、B.Pedersen、E.Ludvigsen◆GERMANY＝T.Haraszti、E.Zipser、D.Palm、F.Constantinescu、A.Renfordt、E.Renfordt◆AUSTRALIA＝J.Marsh、W.Chua、F.Kimble◆CHILE＝J.Torres、C.Campos、L.Saa◆ROMANIA＝A.Flueras、A.Vintila◆SWEDEN＝M.Wilson◆FINLAND＝T.Pyykko◆BASHKORTOSTAN＝S.Salikhov◆NETHERLANDS＝W.Nassau、M.Dodd、M.Kalkman、R.Slinger、F.Veurink、S.Elzenga、H.Meyer、C.Meyer、F.Wageningen、P.Kuhnen、K.Reuter、K.Kaci、J.Overberg◆POLAND＝T.Szalbierz、R.Chobot、K.Szostka、A.Karlowicz、B.Popielski、E.Bazylo◆SPAIN＝J.Ugarte、S.Karic、A.Alvarez、I.Gonzalo、M.Belda、S.Ferri、E.Guzman、A.Navarro、O.Delgado、S.Gonzalez、J.Herrezuelo、J.Bueno、J.Secades、R.Garcia、A.Renones、A.Fisica、F.Murillo、A.Oubina◆ISRAEL＝B.Tanamay◆U.K.＝D.Francis、P.Reilly◆U.S.A.＝M.Stevens、E.Morales、R.Karabowicz、K.O'Malley、B.Battistuz、T.Okuda、Y.Takano、C.Zeiss、D.Stycos◆LAOS＝S.Roullier◆SWITZERLAND＝S.Seligmann◆INDIA＝A.Francis、K.Kayoom、J.Mo-

ammed◆RUSSIA＝V.Kantemirov、A.Zhivov、A.Nedyak、P.Eremin、E.Tarantsev、P.Ponomarenko、B.Sorokin◆GREECE＝P.Dalkos、G.Poulios、D.Deltsidis、G.Badounas◆BRAZIL＝F.Assis Jr.、F.Carvalho、M.Ribeiro、M.Cruz、A.Pinho、L.Silva、G.Guimaraes◆中国＝顔琅◆FRANCE＝N.Ragot、M.Retoret、T.Lucas、B.Jarlier、S.Gillon◆MEXICO＝P.Garcia、G.Villarreal◆中華民国台湾＝蘇敏元、許智超、衛愛欣、陳天財、阮程昭

【初段】

◆本部道場＝尾藤一則、吉川佳秀、矢野裕恵、菅珠江、岡冬彦、渡辺美香、久保田誠、小島泰友、熊谷拓馬、P.Schneider◆J1合気会＝野口ジョン光晴、古川凌空◆ひたちなか合気会＝笹沼遼、小松崎進、曾我部真一◆群馬合気会＝A.Zakeri、M.Hamedi◆月窓寺道場＝増井澄◆高伝館＝三角明裕◆合気練成会＝田京怜人◆渋谷区合気道同好会＝高山賢幸◆合気道石心塾＝上柳浩之、西部保則、高橋浩、玉田亮宏◆祥平塾＝石川あゆみ、S.Bagnell◆神武館＝岡田慎也、鳥居律子、浅井直也、久留内伽奈、嵐悠人◆菅原総合武道研究所＝M.Shaw◆正心会＝大澤千明◆大阪武育会＝小川夕貴、葛籠凌、見学大祐、貝田恭仁子◆柏合気会柏道場＝藤田天仁、渡辺江朗、中山貴子◆流山合気道同好会＝幸田真明◆若手金石玄武館＝中嶋正人◆石岡道場＝松田華◆我孫子合気会＝田口祐見子、宮澤舞次◆光輝会＝伊藤龍成、河岡麗◆合気道小嶋会＝山岡将大◆鷹の台合気道同好会＝吉田直子◆愛知医科大学＝中村文香、安藤名奈美◆愛知学院大学＝稲垣水優、入野瑛、加藤壮、神谷実季、川村祐加、高山美咲、前田和輝◆愛知淑徳大学＝今枝舞◆九州大学＝黒田康平、富本創◆駒澤大学＝伊藤健太◆弘前大学＝浄沼和浩◆甲南大学＝石井采、岡本匡之助、石井亮介、秋山菜々美、森岡晴佳、西谷采華、松井祐太、林和樹◆高千穂大学＝鈴木雄大、土屋秀和◆三重大学合気道部＝大橋諒花◆上智大学(ソフィア合気会)＝石川優里花、平松賢、西藤美咲◆信州大学＝宮島希実、青山真也、後藤佐太朗、田原功貴、長谷川凌我、宮澤駿、大島菜奈子、落合沙央理、塩入萌恵、林咲子、安井美穂、吉倉陽華、御子柴宝、安江悠斗、重田将之介◆新潟大学＝飯森真子、島田尚樹、吉田奈央、糸井信幸◆神戸大学体育会合気道部＝前田文、土見彩、中島梨沙、山川瑞稀◆相山女学園大学＝萩原美季◆千葉工業大学＝萩原大介◆千葉大学＝有吉透、植木萌、松平賢汰、興石真歩◆早稲田大学＝佐々木優、細川結加、横山貴子、遠藤宗、徳田幸太郎◆大阪府立大学女子合気道部＝廣瀬知都、小林咲月、加藤奏◆大東文化大学＝野村沙瑛、渡邊日奈子◆東海大学＝矢崎優一◆東京外国語大学＝佐藤由佳、章由実、水落恵莉菜、志村侑哉◆東京女子大学＝大泉海、北橋菜鈴、清水茜◆東京農工大学＝向井雄紀、鶴木真央、坂東朱音◆東京理科大学神楽坂＝

松尾秀明、三浦英、金澤美奈、東笙大◆東京理科大学野田＝河西恵来、山岸淳之介、小野寺智春◆東北大学＝齋崎秀昭、藤井更紗、徳榮崇仁、興石尚己◆二松学舎大学＝高橋慎一◆日本大学工学部体育会合気道部＝浅野奈緒◆日本大学生物資源科学部＝土田新、関根和花、長田知紗、猪口華蓮、吉田翠◆東京都市大学＝板山千都世、山内響、舟生翼、荒井玲奈◆麻布大学＝古見哲也◆立正大学＝高橋諒、上原瑞樹、河本光月、桂木清加、伯耆康太◆國學院大學＝赤間大晟、新井万里、石川夏海◆名古屋外国語大学＝平田淳、森部哲平、長崎彩泉◆鹿児島大学医学部歯学部合気道道場＝鳥拓哉、有馬健斗◆DENMARK＝C.Thinggaard、U.Saek、M.Salskov、W.Hansen、N.Chakreworawong、D.Haesumgaard、D.Wigh、C.Lintrup◆GERMANY＝A.Berger、F.Constantinescu、M.Paetz、O.Schiewe、V.Schiewe◆AUSTRALIA＝S.Burns、V.Apoutou、P.Bury、M.Edison、G.Gonzalez、R.Harrington、A.Marzuki、S.Muller、C.Samson、J.Wigley、R.Williams、S.Zosky◆CHILE＝R.Gonzalez、R.Saavedra、L.Arcos、G.Monsalve◆NETHERLANDS＝P.Schaler、N.Hartog、P.Duijnhoven、M.Holthuijsen、N.Jansen、S.Adel、F.Huisman、F.Leeuwen、D.Vries、H.Ankeren、C.Kuilman、E.Kuhnen、E.Heijnen、R.Jonge、M.Mendonca◆FRANCE＝N.Ragot、M.Retoret、T.Lucas、B.Jarlier、S.Gillon、M.Damade、J.Pacheco、M.Guhur◆FINLAND＝T.Virkkala、L.Suokas、K.Miettinen◆POLAND＝W.Ucziwek、L.Kleinhans◆SPAIN＝O.Fernandez、J.Casado、C.Diaz、X.Villalba、I.Caballero、M.Caballero、J.Molina、J.Montenegro、N.Kurtovic、A.Sousa、M.Portal、N.Otero、A.Kamberovic、J.Walker、Y.Kelani、S.Sanchez、J.Cantalapiedra、M.Garcia、O.Moreno、L.Lopez、E.Roma、J.Blas、J.Green、C.Sanchez、J.Segovia、J.Valladolid、L.Cuenca、D.Escribano、S.Vargas◆RUSSIA＝V.Ivanickiy、D.Borovkov、A.Galaburda、O.Dubinina、A.Datiev、V.Serdinova、I.Haladov、A.Abdulaziev◆GREECE＝A.Portokalakis◆BRAZIL＝R.Jose、M.Souza、T.Silva、J.Rodrigues◆U.K.＝M.Lupulovici、F.Slamenik、P.Shepherd、C.Pickering、J.Mahele◆U.S.A.＝N.Upham、T.Selko、J.Maldonado、E.Pearson、M.Martinez、S.Macninch、B.Keaney、A.Fukui、C.Meneur、V.Chan、K.Barber、P.Schoyck、J.Coletti、T.Pellino、D.Saldanha、N.Abraham、T.Malctic、Y.Xue、S.Mcilwain◆ITALY＝C.Giorgio、F.Laura、S.Andrea、S.Beatrice、C.Mattia、山口さち子◆LAOS＝S.Homphasathane、T.Phouangmchan、K.Konsri、T.Souliyavong◆ROMANIA＝I.Barbulea◆中国＝P.Norrie◆ESTONIA＝L.Sits、I.Lebedev◆NEPAL＝S.Rai◆INDONESIA＝M.Nasution、F.Rei◆SINGAPORE＝D.Jhyadi、B.Limbu、P.Chongbang◆中華民国台湾＝郭照正、陳姿好、曾怡徳、王文楷、賴怡嘉

山梨県連が合同稽古会

山梨県連盟では2月24日、本部道場より藤巻宏師範にお越し頂き、連盟加盟団体の合同稽古会を開催しました。今回で7回目の開催を迎え、参加団体の間で恒例行事となり、開催を楽しみにしているメンバーも多くいます。

講習会では、転換、入身の基本的な足捌きと相手の間合いについて、一人動作から相対での足位置の確認、また、後取り技の際の相手とのつながりの保ち方などを指導頂きました。

また、師範自身が参加者全員と稽古をするよう、道場内を縦横無尽に動き回って尽力頂きました。

距離感の間合い、時間的



藤巻師範による抑え

平成30年度新潟県合気道連盟指導者強化練成会が3月23、24の両日新潟市亀田総合体育館にて行われ、新潟県内から約50名が参加した。指導は森智洋本部道場指導部師範。

2日間で2時間半ずつの講習が行われ、会員の皆さんの真剣に稽古に取り組み態度に、時間はあっという間に過ぎていった。

指導者向けの練成会というところで、通常の稽古の他に初心者指導法の講習も行われ、参加者は自分が指導するときのことを想定しながら稽古に取り組んだ。

本講習会が連盟発展の一助になればと思う。

「維持会員」へのおさそい

日頃から格別のご理解とご厚意を賜りありがとうございます。

(公財)合気会では合気道のより一層の普及発展をはかるため「公益財団法人合気会 定款」にもとづく「維持会員」へのお誘いを致しております。

つきましては、賛同頂きご後援・ご援助を賜わることができましたら幸いです。

- 記
- (1) 賛助会員 この法人の目的に賛同し、事業を援助するために維持会費として
年額1口2万円 1口以上を納める個人および法人又は団体
 - (2) 特別会員 この法人の目的に賛同し、この法人を後援維持するために維持会費として
年額1口10万円 1口以上を納める個人および法人又は団体
- お申し込みは(公財)合気会事務局まで

金塚 稔 (フレイッシュン合気道フェレリッシュン師範) 3月8日逝去。79歳。

▽鈴木俊雄指導部師範は、4月18日から23日までモスクワの講習会に派遣される。

▽佐々木貞樹指導部師範は、4月18日から23日までロシアに派遣される。

▽菅原繁指導部師範は、4月11日から15日まで香港の講習会に派遣される。

▽入江嘉信指導部師範は、4月11日から15日までアイルランドの講習会に派遣される。

▽森智洋指導部師範は、4月11日から16日までドイツの講習会に派遣される。

▽栗林孝則指導部師範は、4月18日から22日までシンガポールの講習会に派遣される。